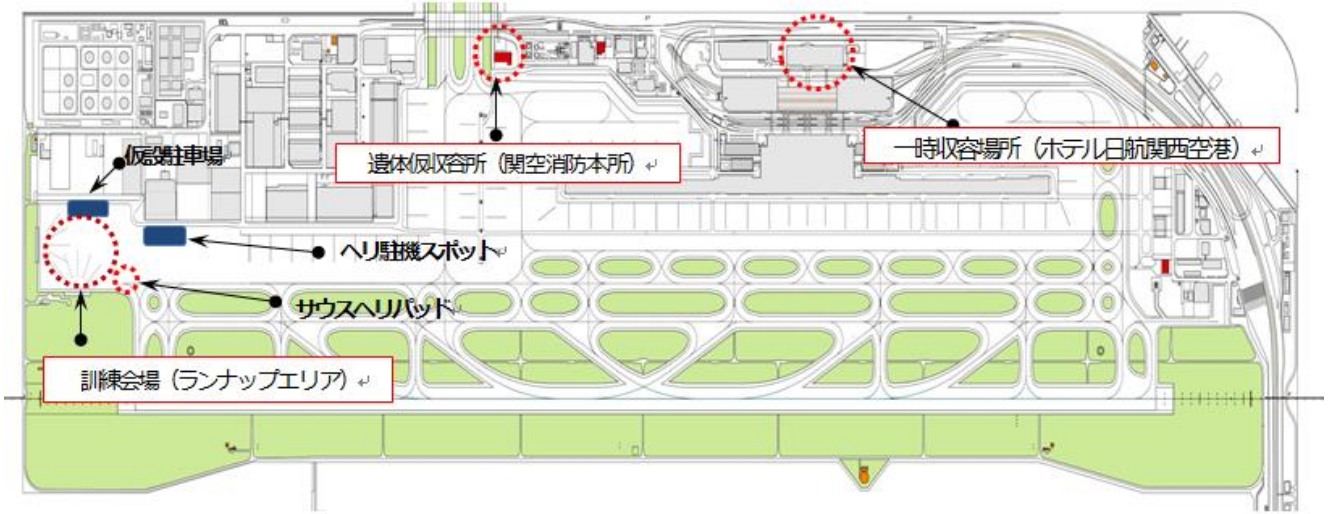


2016年度 関西国際空港航空機事故消火救難総合訓練の実施

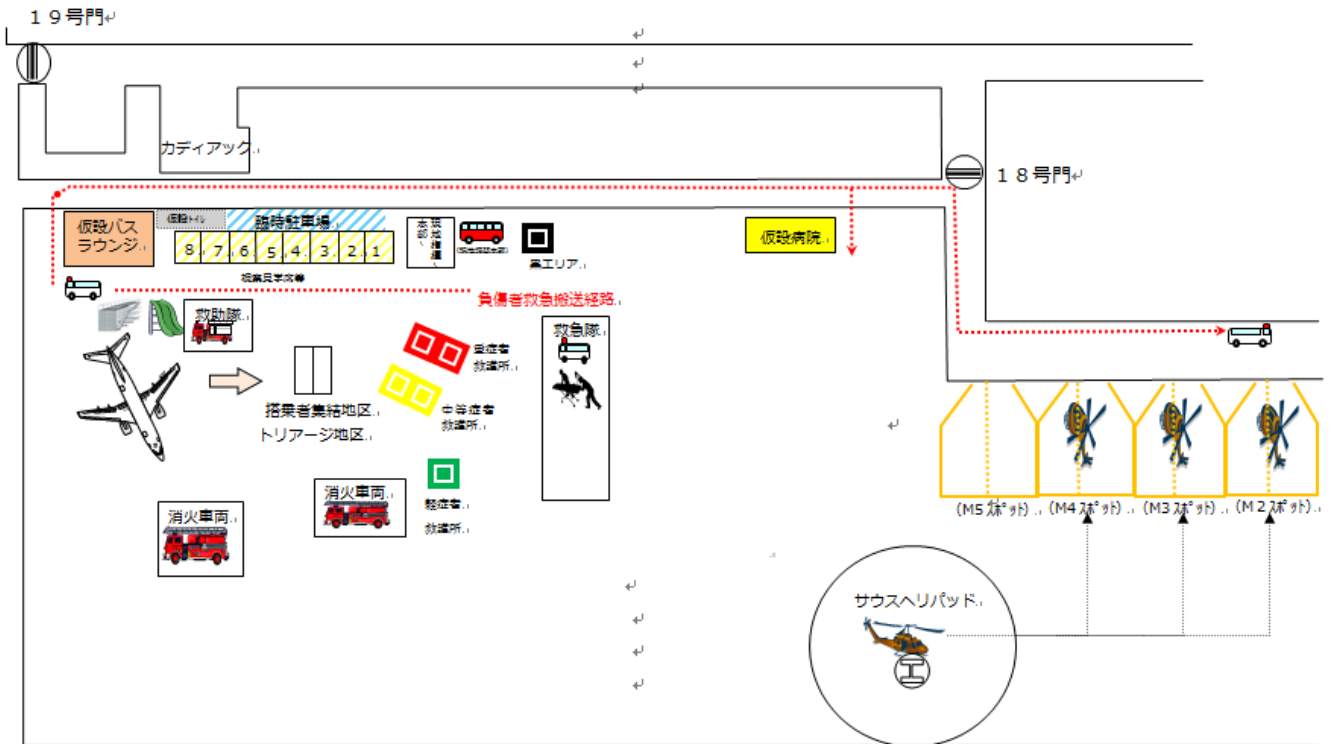
関西国際空港で航空機事故が発生した場合に備え、関西国際空港緊急計画の検証を行うとともに、関係機関との緊密な連携と協力による迅速かつ適切な消火救難、災害医療活動訓練を下記のとおり実施しますのでお知らせします。

- 実施日時
2016年10月20日（木）13:30～16:00
- 実施場所
関西国際空港内
- 主催
関西国際空港緊急計画連絡協議会
- 参加機関
 - ・参加機関：72 機関
【国土交通省関西空港事務所、防衛省、大阪府警、消防機関 8 消防本部（局）、海上保安庁、医療関係他】
 - ・参加人数：810 名
 - ・車 両：消防車 32 台、救急車 15 台、警察車両 8 台
 - ・ヘリコプター：3 機（関西空港海上保安航空基地、陸上自衛隊第三師団、大阪府 Drヘリ）
- 訓練想定
「ABCD 航空 2016 便、A320 型機が、B 滑走路 06L への着陸時に強い衝撃を受け、着陸後 B 滑走路中央付近にてNo.2 エンジンより出火し、機体に延焼中。なお、衝撃による負傷者が多数発生している模様。」
- 訓練内容
 - ・関西エアポート(株)および公設消防による消火活動訓練
 - ・航空機および機内を模擬した訓練施設からの負傷者救出訓練
 - ・訓練用シューターによる脱出訓練および負傷者救助訓練
 - ・特殊メイクを施した模擬負傷者に対する、DMAT（大阪府泉州救命救急センター、近畿大学医学部附属病院、堺市立総合医療センター）および日本赤十字社等の空港救護班による災害医療活動訓練
 - ・無傷者の入国に対する CIQ 手続き訓練
 - ・災害発生現場における、現地調整本部での搬送調整による遺体ならびに無傷者の実搬送を実施
※遺体仮収容所（関空消防本所）、無傷者の一時収容場所（ホテル日航関西空港）
 - ・DPAT（災害派遣精神医療チーム）による災害医療活動訓練および一時収容場所（ホテル日航関西空港・白鳥の間）での無傷者に対する、メンタルヘルスケア講習会の実施
 - ・ヘリコプター3機による負傷者搬送訓練
 - ・航空事故総合対策本部、現地調整本部、関西エアポート(株)緊急対策本部の活動訓練

2016年度 関西国際空港航空機事故消火救難総合訓練



訓練会場概況図



【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
 Tel : 072-455-2201

関西エアポート株式会社 について

関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITM）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しました。関西エアポートは、オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。

関西エアポートは、両空港の安全とセキュリティを常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目標としています。

関西エアポートは、2015年12月15日付けで新関西国際空港株式会社との間で、事業期間を44年とする「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等公共施設等運営権実施契約」（実施契約）を締結しています。

会社名

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	資本金	250億円
代表者	代表取締役社長 山谷 佳之 代表取締役副社長 エマヌエル・ムノント	設立年月日	2015年12月1日
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等	株主	オリックス 40%、ヴァンシ・エアポート 40%、その他の出資者 20% (*1)



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界36カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。

2014年に50周年を迎え、これからも経営戦略である「金融+サービス」の加速化、「アジア等新興国の成長を取り込む」を推進し、新たな事業機会の獲得と持続的な成長を目指すと同時に、社会に貢献してまいります。



ヴァンシ・エアポートは、フランスで12、ポルトガルで10（リスボンのハブ空港を含む）、カンボジアで3、日本で2、ドミニカで6、そしてチリで1空港の合計34空港の開発および運営を行うグローバル企業です。

ヴァンシ・エアポートが運営する空港ネットワークの2015年の年間利用者数は1億人にのぼり、140社を超える航空会社が就航しています。2015年のヴァンシ・エアポートの年間売上高は8億2000万ユーロ(*2)を記録しています。

ヴァンシ・エアポートは、深い知見と、プロフェッショナルリズムあふれる世界各国の8,500名のスタッフの力を合わせ、その投資力や国際ネットワーク、既存空港のインフラ運営最適化、施設の拡充、新規建設における専門性を生かし、空港の開発、資金調達、建設、および運営を行っています。詳細につきましては、www.vinci-airports.comをご覧ください。

(*1) その他の出資者

株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ジェイティービー、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

(*2) 日本、チリ、ドミニカ共和国の各空港のデータを含まず。